

国語科 学習指導案			
単元名		AI を活用する社会を見すえて何を学ぶべきかについて考えを深め、情報の扱い方に注意しながら小論文を書こう。(新井紀子『AI にできない仕事』とはどういう仕事か)平成31年度長崎大学経済学部社会人入試(夜間主コース)「国語総合」(現代の国語)	
単元の目標 (単元で育成する資質・能力)		① 知識及び技能 主張と論拠など情報と情報との関係について理解すること。 (話や文章に含まれている情報の扱い方に関する指導事項ア) ② 思考力・判断力・表現力等 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすること。(B書くことア)	
具体的な評価規準			
知識・技能		思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
「AI を活用する社会を見すえて何を学ぶべきか」という問いについて小論文を書く上で、主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。		小論文を書くために、主張の論拠となる情報を収集し、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にして書くことができる。	「AI を活用する社会を見すえて何を学ぶべきか」という問いについて小論文を書く上で、主張と論拠など情報と情報との関係について理解しようとしながら、論拠とする情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にして書こうとしている。
単元計画			
次	時	評価規準と評価方法	学習活動
一	1 2	【評価規準】 小論文の書き方について学び、主張と論拠の関係など情報と情報との関係について理解している。(知識・技能) 【評価方法】 記述の確認	① 小論文の書き方について学び、主張と論拠の関係を理解しながら、「『AI にできない仕事』とはどういう仕事か」という問いについて小論文を書く。
二	3 4	【評価規準】 主張の論拠となる情報を収集し、情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にして書くことができている。(思考・判断・表現) 【評価方法】 記述の確認	② AI を活用すると仕事の内容は具体的にどう変わるのか、「各職種の仕事人の職業インタビュー」や、「企業へのインタビュー調査の資料」を読んで情報を収集し、グループで情報の妥当性を吟味して、発表する。 ③ 収集した情報を論拠として、「たしかに△△はAIにより代替されるが、〇〇は人間が必要とされる」という形にまとめる。
三	5 6	【評価規準】 小論文を書く上で、主張と論拠など情報と情報との関係について理解しようとしながら、論拠とする情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にして書こうとしている。(主体的に学習に取り組む態度) 【評価方法】 記述の分析	④ 本校でのこれまでの学びを振り返った上で、AI を活用する社会を見すえて何を学ぶべきかについて小論文を書く。 ⑤ 書いた小論文を、ループリックを用いて相互評価・自己評価し、主張と論拠の関係が適切であり、伝えたいことを明確にして書いているかを確認する。